

令和 5 年度第 1 回（第 78 回）CPD プログラム委員会議事録

日 時：令和 5 年 6 月 20 日（火）10:00 ～ 10:55

場 所：Zoom によるウェブ会議

出席者（順不同・敬称略）

高木真人委員長、湯本公庸委員、清田修委員、富松重行委員、太田賢委員、柳川博之委員、
新宅英司委員、吉田佳典委員、橋本克巳委員、矢内悠介委員、
松尾賢太郎様（原田克之委員代理）、中村知治様（八坂保弘委員代理）、尾崎章幹事、
オブザーバ：広崎膨太郎前会長、事務局：竹内章晃様

配布資料

- 資料 1-0 CPD 協議会 CPD プログラム委員会名簿 2023.6.20
- 資料 1-1 令和 4 年度第 4 回（第 77 回）CPD プログラム委員会議事録（案）
- 資料 1-2（差替）第 45 回（2023 年度第 1 回）CPD 運営委員会議事録（0619）
- 資料 1-3 2023 年度第 1 回 CPD 協議会全体会議 議事録案

- 参考資料 1 CPD 協議会 会長・副会長の交代について
- 参考資料 2 日本工学会 CPD ガイドライン改定案 1
- 参考資料 3 2022 年度 ECE プログラム完了と 2023 年認定（継続）
- 参考資料 4 日本工学会 令和 5 年度事業計画（案）r 2
- 参考資料 5 CPD 活動及び登録に関するアンケート調査結果 20200806

議事

0. 委員会名簿確認

- 資料 1-0 により、CPD プログラム委員会の委員名簿（2022.6.20 現在）を確認した。
（ターボ機械協会と日本塑性加工学会からの委員の交代、日本技術士会からの委員は選任中）

1. 前回議事録の確認

- 資料 1-1 により、前回の議事録確認を行った。特段の修正・コメントは無く、本議事録は確認された。また、本件に関し高木委員長から以下の補足説明があった。
 - 世界エンジニアリングデー記念シンポジウムについては、今年度は 3 月 4 日が月曜日なので、当日開催で問題ないと思われる。
 - 日本技術士会／CPD 活動関係学協会連絡会は、昨年の技術士制度改正にともない、技術士の CPD 実績を公的に記録するようになったことを受けて、CPD 登録システムを有している学協会との連携を図るものである。日本工学会は CPD 登録システム

を有していないが、会員学協会への周知を図るとの位置づけもあり参画している。

2. CPD 協議会運営委員会（第 45 回）報告

- 資料 1-2 により、CPD 協議会運営委員会の議事内容が高木委員長から報告された。
- CPD 協議会は、須藤会長の退任に伴い、今年度から、石原直会長、五十嵐仁一副会長、（高木真人副会長は留任）の体制となる。（参考資料 1）
- ECE プログラム認定委員会で、4 件の ECE プログラムについて、2022 年度活動完了と 2023 年度継続の認定が行われた。（参考資料 3）
- 参考資料 2 により、昨年度審議した日本工学会 CPD ガイドラインの改定内容の概要が高木委員長から説明された。改定案は、2023 年度第 1 回 CPD 協議会全体会議（メール審議）（資料 1-3）で承認され、今後、今月の日本工学会理事会で報告を行う。

3. 今年度の活動計画について

- 参考資料 4 により、日本工学会社員総会で承認された令和 5 年度事業計画のうち、CPD 協議会関連の要点について、高木委員長から説明があった。
 - CPD 協議会としては、年 2 回のシンポジウム（1 回は世界エンジニアリングデー記念シンポジウムを共催）を実施する。
 - CPD プログラム委員会では、グッドプラクティス・情報共有として、産業界向けのリカレント教育についても事例研究・情報共有していきたい。また、文科省の技術士制度検討の議論は、適宜、本委員会の議論にも反映していきたい。
- 今後の方向性の参考として、CPD ガイドライン改定に着手した 2021 年度第 2 回 CPD プログラム委員会での議論が高木委員長から紹介された。
 - 初版のガイドライン策定は約三年かけて行われた。策定後は、ポータルサイトを立上げて、CPD の普及・支援活動に移行していた。会員学協会の CPD 活動に関するアンケート調査も行っている。
 - ガイドライン改定の方向性として、国際標準の反映、国際動向の可能な範囲での反映、産業界のニーズの取入れを示していた。産業界のニーズの取入れは、文言としては反映したが、具体的にどうするかについては難しい面もあり、引き続き議論していきたい。
- これらを踏まえ、今年度の活動計画について高木委員長から以下の提案があった。
 - 前回のガイドライン策定時に倣うと、今年度からは会員学協会の CPD プログラムに関する情報共有、議論を進めていきたい。
 - 2020 年に CPD 活動及び登録に関するアンケートを実施している（参考資料 5）が、今年度、これのアップデートを行いたい。技術士制度改正にともない CPD 登録制度への注目も増しているところであり、調査項目についても、いくつか追加したいと考えている。
 - 学術・技術分野ごとにまとめて CPD 登録を行う制度に関する議論が過去にあった

が、このあたりも把握して全体を俯瞰できるようにしたい。

- 日本技術士会が日本工学会の会員に対して同様のアンケートを行っているとのことなので、可能であれば情報を入手して共有したい。

4. その他

- 新しく委員に就任された方々、代理出席された方々から、自己紹介・ご挨拶をいただいた。
- 次回については、別途日程調整を行う。(9月頃、会議時間1時間を前提に調整する。)

以上